

全印工連 創立70年の歩み

vol.
3

1971年～1983年(昭和46年～58年)

会長：新村長次郎／1966年～1974年(昭和41年～49年)

山元 正宣／1974年～1976年(昭和49年～51年)

矢板東一郎／1976年～1980年(昭和51年～55年)

久永 舎春／1980年～1982年(昭和55年～57年)

松島 義昭／1982年～1986年(昭和57年～61年)

構造改善事業とイノベーションの時代

1971年(昭和46年)にスタートした構造改善事業は中小印刷業の技術革新を強力に後押しした。第2次構造改善事業では「知識集約化」を掲げて電子化を推進するとともに、オフセット印刷機の普及とカラー化を牽引した。構造改善事業は中小印刷業界に大きなイノベーションの時代をもたらしたといえる。

昭和46年にスタートした構造改善事業は、2年目に工業統計出荷額が前年比16.3%増と成果が表れた。同時に平版印刷(オフセット印刷)の出荷額が凸版印刷(活版印刷)を追い越した。しかし、ニクソンショックに追い打ちをかけるように昭和48年、イラン革命を機に世界を襲ったオイルショックは、国内でも消費物価を引き上げ、急速なインフレを起こした。印刷業界も昭和46年に不況業種に指定され、国内経済とともに低成長時代に突入する。

このころから消費傾向は物財よりもサービスに対する需要に傾き、大量生産、大量販売から付加価値の高い知識集約的

なものへとシフト。印刷業界では雇用面で高学歴化が進み、人材確保のために労働条件や作業環境の改善が求められるようになった。生産面ではますます自動化、システム化が取り入れられていった。

昭和55年、第2次構造改善事業ではそうした状況を背景に「知識集約化」が一つの目標に据えられた。その一つとして、適正生産方式に掲げられたのが「カラースキャナ方式」である。さらに手作業に依存していた集版作業は、昭和50年ごろ、新製版方式の“CEPS”(Color Electronic Prepress System)により、カラー画像を編集してページアップされる方式が採用されていった。イスラエルのサイテックス、ドイツのヘル、イギリスのクロスフィールド、日本の大日本スクリーン製造、アメリカのPDIから製品が販売され、その後、文字、版下、画像ごとに専用ワークステーションで処理、編集されるようになった。文字についてはCTSから画像化されたデータを取り込むため、修正できないという課題が残ったものの、製版作業の生産性向上と、カラー印刷の進展につながっていく。

昭和57年、全印工連調査では導入台数でもオフセット印刷機が凸版印刷機を上回った。50年代後半からオフセット印刷機は自動刷版取付装置やインキコントロール装置などの自動



印刷業構造改善計画承認記念パーティの様子(昭和46年)

制御技術によりカラー印刷の適正を高めていった。第2次構造改善事業が終了する昭和60年には多色化率が31.3%に向上。印刷業界のカラー化はその後の第3次構造改善事業以降も引き上げられていく。

そのころからパソコン、ファクシミリ、ワードプロセッサ(WP)が一般オフィスに普及し始め、印刷業界でも業務にこれらの機器を取り入れていった。文字データのみWPで打ち込み、プリンターで出力して版下として利用する手法も編み出され、次のステップとしてWPとCTSの文字を変換するコンバータを介してCTSの入力機としても活用された。



名刺・年賀状コンクール (昭和48年)

全印工連では昭和48年、日本印刷技術協会とタイアップして「営業士認定制度」を発足。名刺・年賀状コンクールを実施するなど人材育成でもバックアップ。同年、通商産業省(現経済産業省)は繊維雑貨局を「生活産業局」に改称。紙業課のもとに印刷を担当する「印刷・製本班」を開設し、印刷産業の存在は国からも認められた。



営業管理士試験 (昭和55年)

【印刷組合・情報産業の歩み】

1971年(昭和46年)

- ・印刷業の構造改善計画が通産大臣承認を得る

1972年(昭和47年)

- ・全印工連出資組合に移行
- ・沖縄本土復帰、沖縄県印刷工業組合が加盟

1973年(昭和48年)

- ・営業士認定制度を確立

1976年(昭和51年)

- ・全国共済制度発足

1980年(昭和55年)

- ・「第2次構造改善計画」通産大臣の承認を得る

1981年(昭和56年)

- ・構改善計画・新技術開発事業がスタート

1983年(昭和58年)

- ・全国青年印刷人協議会(全青協)の前身「全国青年印刷人代表者連絡会」が開催

【社会の出来事】

1971年(昭和46年)

- ・NHK総合テレビで全番組がカラー放送開始

1973年(昭和48年)

- ・第1次オイルショック

1974年(昭和49年)

- ・セブン-イレブン第1号店開店

1975年(昭和50年)

- ・ベトナム戦争が終結

1978年(昭和53年)

- ・第2次オイルショック発生

1980年(昭和54年)

- ・イラン・イラク戦争が開戦

1983年(昭和58年)

- ・インターネットが誕生
- ・任天堂がファミコンを発売
- ・東京ディズニーランド開園